



継がれ行く伝統の舞

～上荒尾熊野座神社春季例大祭 ごんげんさん～

4月14・15日、上小路地区の上荒尾熊野座神社で春季例大祭（ごんげんさん）が開催されました。五穀豊穡や家内安全を祈願して同地区の子どもたちによる上荒尾熊野座神社神楽（通称：子ども神楽）が奉納されると、訪れた参拝客は約160年続く伝統の舞に足を止めて見入っていました。子ども神楽は平成14年に市指定無形民俗文化財にも指定され、舞手の子どもたちはこの日のために1年を通じて練習を重ねています。舞手の柴崎杏菜しばさきあんなさんは、「年長の頃から舞っています。小学4年生になり、たくさんの舞を舞うようになりました。伝統の重みを感じ、これからも頑張りたい」と話しました。

5

May 2018

[平成30年]